



株式会社クレオ

2021年3月期 第1四半期 決算 補足説明資料

2020年7月29日

株式会社クレオ (JASDAQ:9698)

2021年3月期 1Q 連結業績概要

(単位：百万円、%)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	前期比	
			増減	%
売上高	2,998	2,972	▲26	▲0.9
営業利益	117	67	▲50	▲42.2
経常利益	124	102	▲22	▲17.8
純利益	55	6	▲49	▲88.5

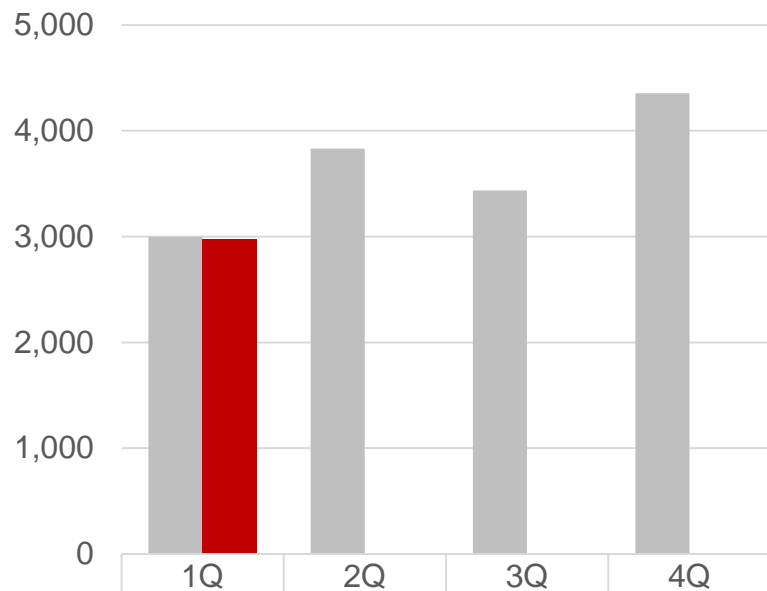
■ 連結業績概要について

- 売上高：システム運用・サービス事業を除くすべての事業が伸長したものの、前期比で27百万円減少
- 営業利益：テレワーク環境の準備、オフィス増床などにより、前期比で50百万円減少
- 経常利益：営業利益の減少により、前期比で22百万円減少
- 純利益：経常利益の減少により、前期比で49百万円減少

四半期別の売上高・営業利益

四半期別売上高

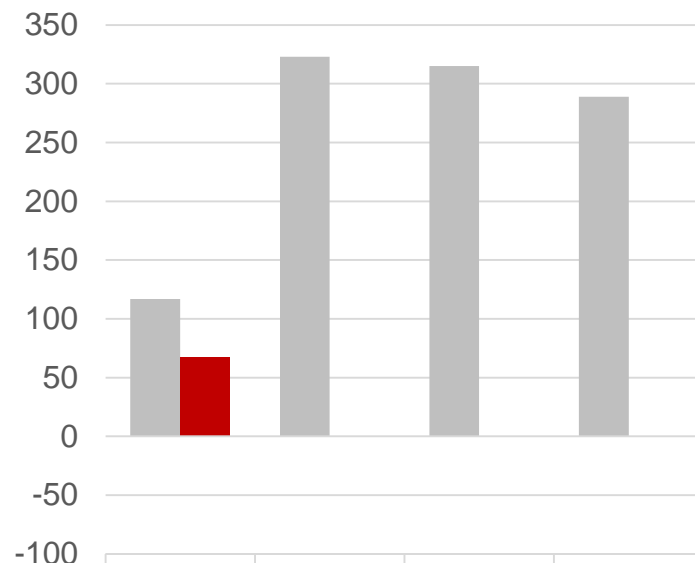
(単位：百万円)



	1Q	2Q	3Q	4Q
■ 前期実績	2,998	3,833	3,436	4,356
■ 当期実績	2,972	-	-	-

四半期別営業利益

(単位：百万円)



	1Q	2Q	3Q	4Q
■ 前期実績	117	323	315	289
■ 当期実績	67	-	-	-

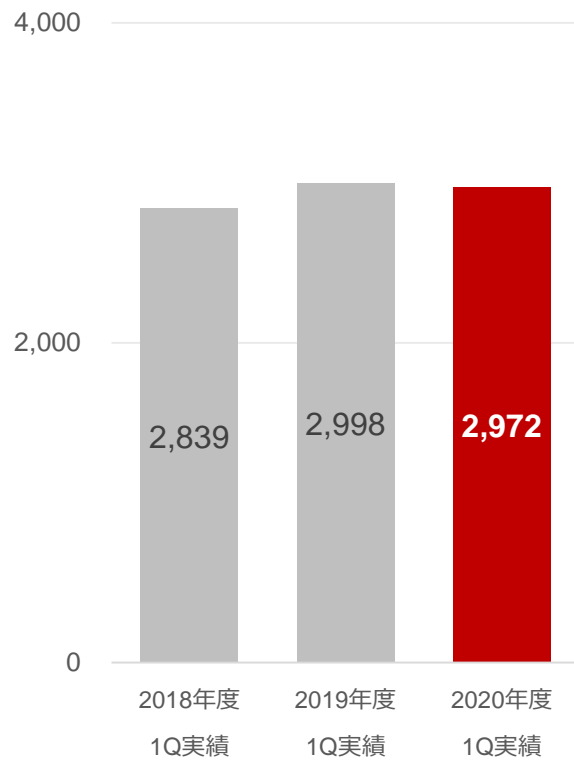
■ 上期の営業利益計画が前期比マイナスとなる要因

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策に伴う、リモートワーク環境構築による費用増
- ・ 期首に計画していた一部案件の受注延伸による利益減

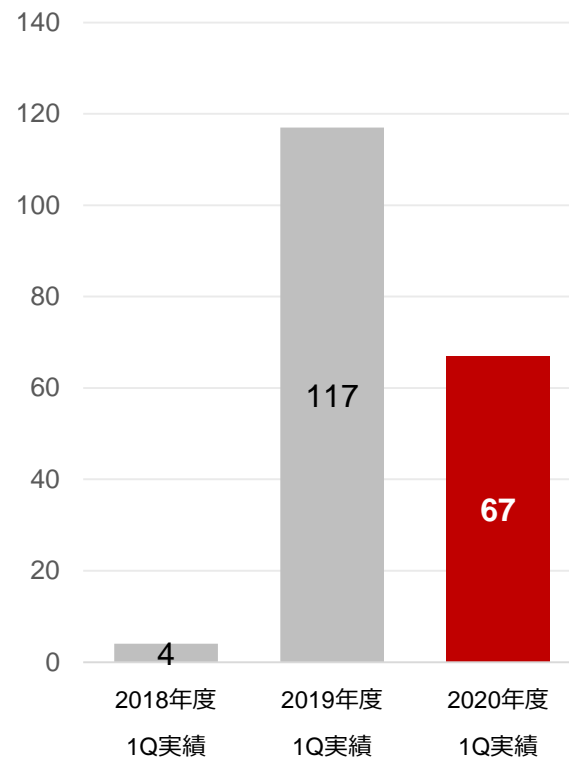
3力年度の業績推移（第1四半期累計）

単位：百万円

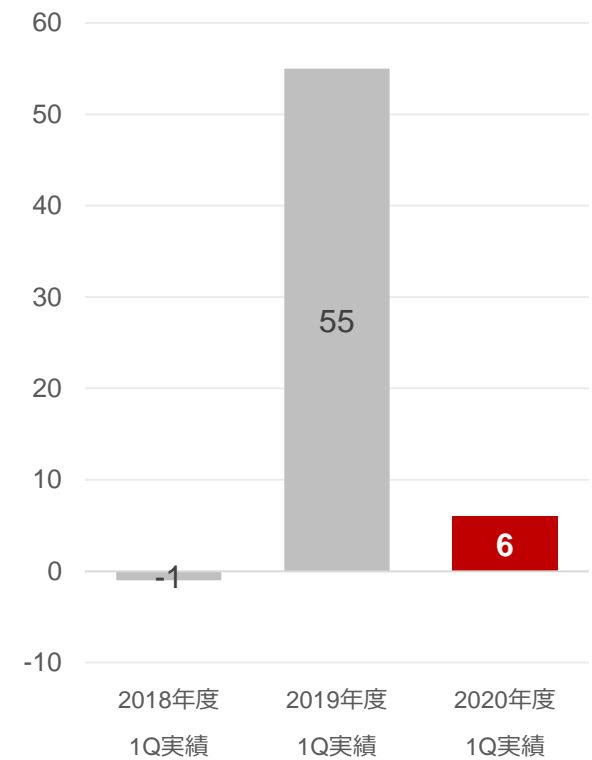
売上高



営業利益

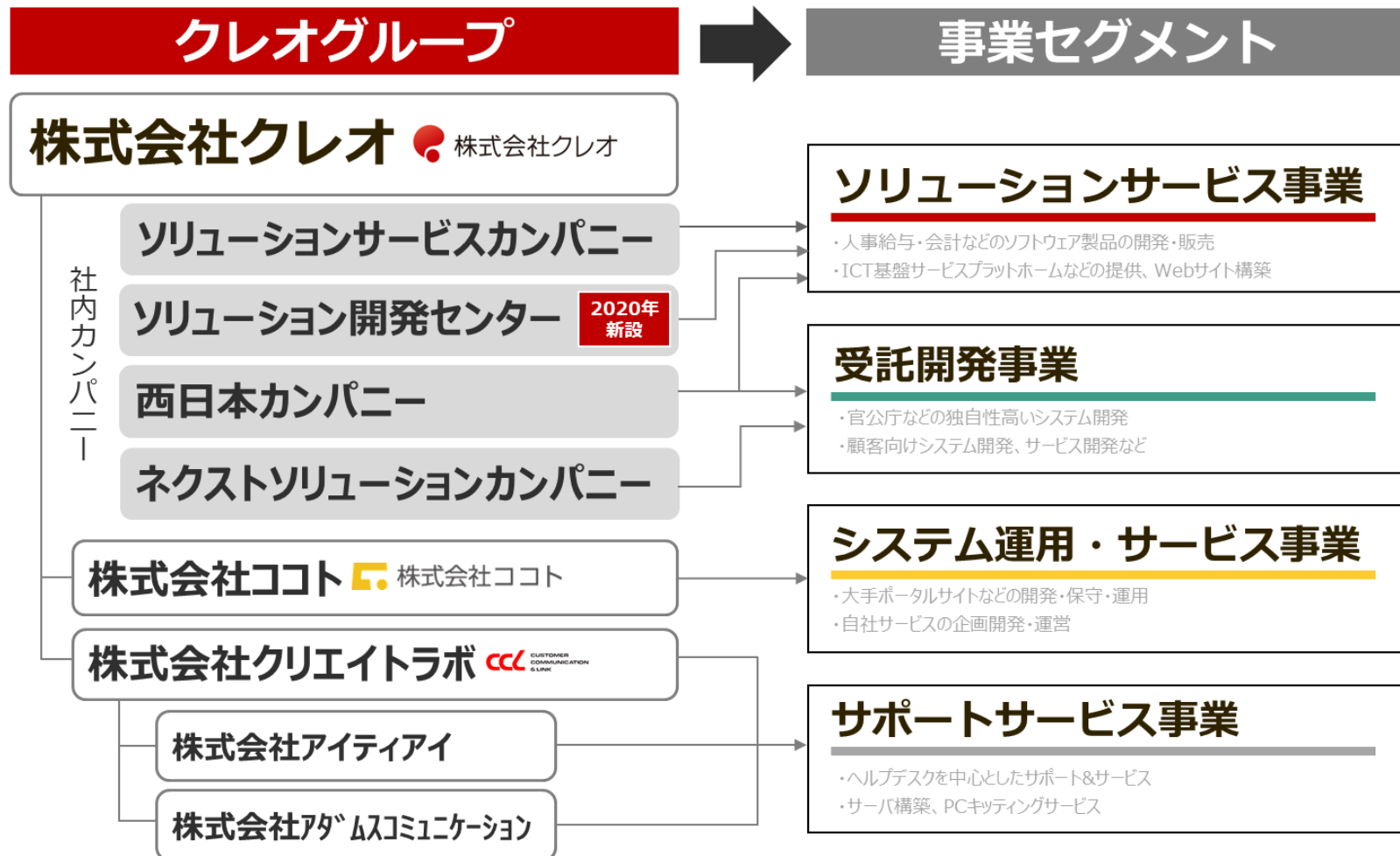


純利益



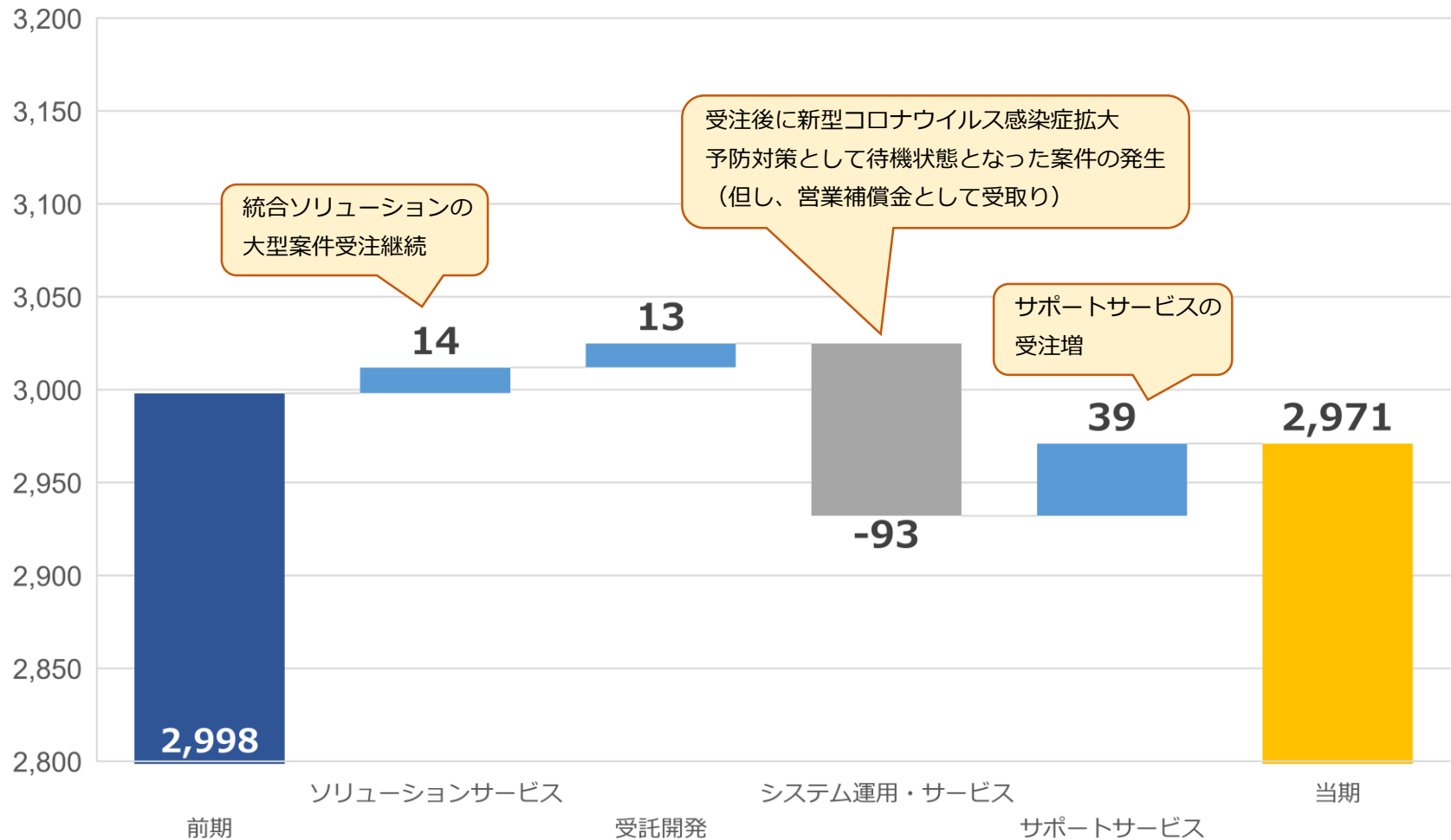
事業セグメントの変更について

・2020年度より「組織 = 事業セグメント」となっていたものを一部見直し。2019年度まで「西日本事業」としてきた西日本カンパニーの売上高、利益は事業内容に応じて2つの事業セグメントに振り分けております



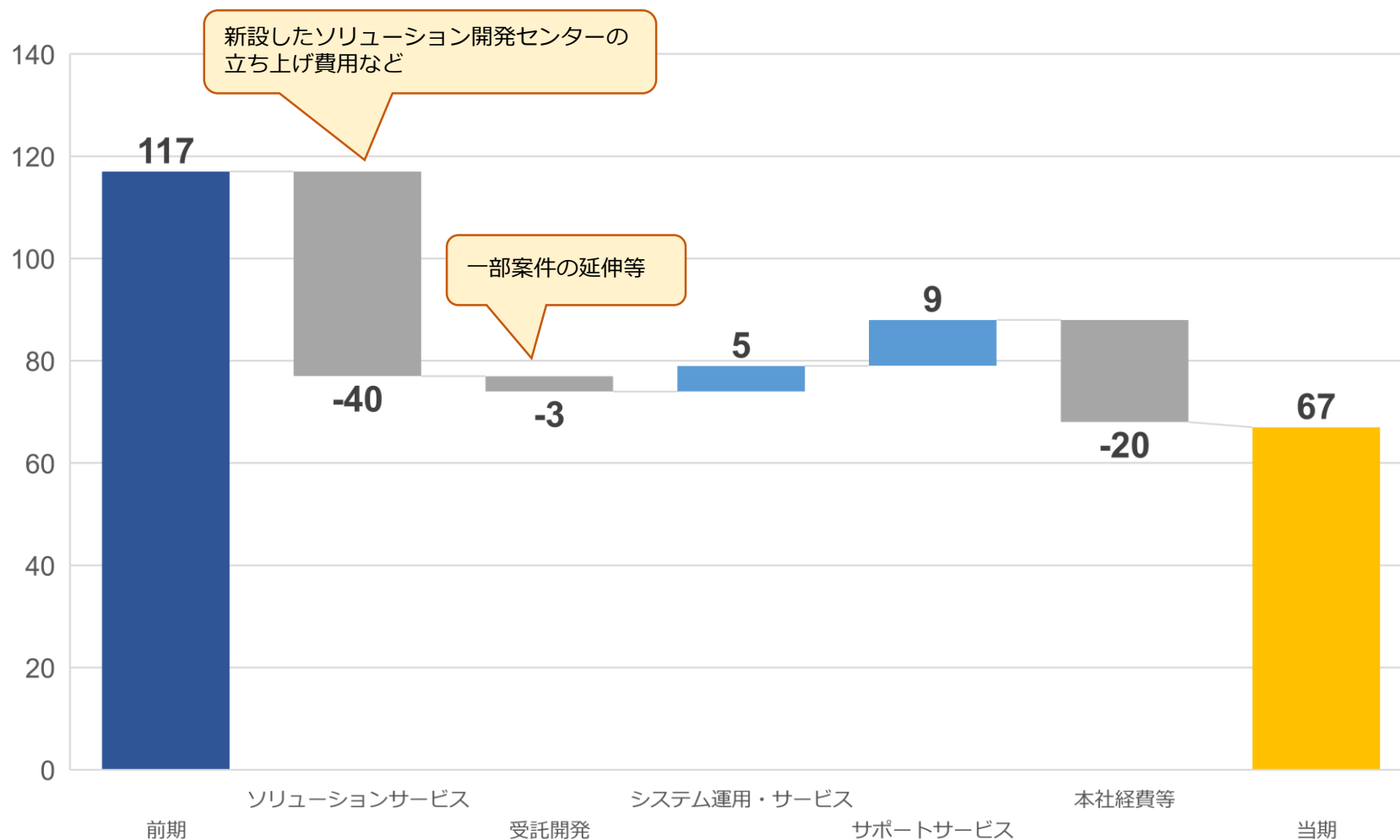
連結売上高 1Q 前期比 増減内訳

(単位：百万円)



連結営業利益 1Q 前期比 増減内訳

(単位：百万円)



2021年3月期 1Q セグメント別売上高の概要

(単位：百万円、%)

	2020年3月期 1Q実績	2021年3月期 1Q実績	前期比		売上 構成比
			増減	%	%
ソリューションサービス事業	942	956	14	1.5	32.2
受託開発事業	426	439	13	3.2	14.8
システム運用・サービス事業	525	431	▲93	▲17.9	14.5
サポートサービス事業	1,105	1,144	39	3.5	38.5
連結合計	2,998	2,972	▲26	▲0.9	100

■ システム運用・サービス事業

新型コロナウイルス感染症対策として一時待機状態となった案件が発生したことによる影響
(但し、営業補償金として受取り)

■ その他 3事業

継続的な需要の取り込みにより成長

※2021年3月期第一四半期の決算報告から「西日本事業」としてきた西日本カンパニーの売上高、利益は事業内容に応じてソリューションサービス事業と受託開発事業の2つの事業セグメントに振り分けております。

2021年3月期 1Q セグメント別営業利益の概要

(単位：百万円、%)

	2020年3月期 1Q実績	2021年3月期 1Q実績	営業利益率 (%) ※	前期比	
				増減	%
ソリューションサービス事業	181	141	14.8	▲40	▲22.2
受託開発事業	53	50	11.4	▲3	▲6.7
システム運用・サービス事業	22	27	6.3	5	22.6
サポートサービス事業	65	75	6.6	9	15.3
本社経費等	▲205	▲225	-	▲20	9.9
連結合計	117	67	2.3	▲49	▲42.2

※ 連結子会社が運営する「システム運用・サービス事業」「サポートサービス事業」以外の3事業については、営業利益の算出にあたり、本社経費等の配賦を行っておりません。

■ ソリューションサービス事業

新設したソリューション開発センターの立ち上げ費用などの影響により減益

※2021年3月期第一四半期の決算報告から「西日本事業」としてきた西日本カンパニーの売上高、利益は事業内容に応じてソリューションサービス事業と受託開発事業の2つの事業セグメントに振り分けております。



株式会社クレオ

本資料に記載される見通し、今後の予測、戦略などに関する情報は、本資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲でなした判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であっても、本資料を無断で複写・複製、または転送などを行わないようにお願いします。